

No.	部署名	款	項	目	細目	事業コード	科目名	R2支出額(円)	ページ
1	議会 議会事務局	1	1	1	3	[00000003]	議会事務局事務費	502,466	1
2	議会 議会事務局	1	1	1	4	[00000004]	議会運営事業	5,450,091	3
3	議会 議会事務局	1	1	1	7	[00001284]	議会運営事業（新型コロナ対策）	4,675,000	5



事業シート (概要説明書)

予算事業名	議会事務局事務費		事業開始年度	平成16年度		
上位施策事業名	-		担当課名	議会事務局		
根拠法令等	地方自治法第138条第2項、鴨川市議会事務局設置条例、鴨川市議会事務局処務規程		係名	議事係庶務係		
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	山口勝弘		
実施の背景	地方分権の進展等により、議会の果たす役割は高度化、複雑化している中、議員が円滑な議会運営ができる環境整備を行う。また、議会を代表して行う交際に要する経費の支出や、公務のスケジュール等を的確に行う。					
目的 (何をどうしたいのか)	議会の意思決定機能及び市政を監視する機能が十分に発揮できるよう、議会活動の補助者として、円滑な議会運営、議会活動が図られるよう職務を遂行する。 また、市民目線や市民感覚を身につけ、市民に信頼される議会、市民が身近に感じる議会、市民に開かれた議会づくりを目指す。					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	議員・市民・他の自治体議会		対象者数(全住民に対する割合)		
				32290 人 ( 101.4 % )		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施				
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 ( 委託先又は指定管理者 )				
<input type="checkbox"/> 補助金( <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 ) ( 補助先 実施主体: )						
	<input type="checkbox"/> 貸付(貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他( )					
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)		事業費	活動指標		
	職員研修費 議長交際費  行政視察来庁の際の来客贈 正副議長名刺及び議会封筒作成印刷 議会運営等経費		0円 56千円  0千円 59千円 387千円	研修参加人数 交際費を伴う行事等 出席回数 行政視察受入数		
関連事業 (同一目的事業等)						
コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)	
	事業費合計	1,284 千円	502 千円	940 千円	1,077 千円	
	事業費内訳 R2年度	全国市議会議長会事務局職員研修、関東市議会議長会事務局職員研修及び議員年金に関する研修会参加の際の旅費 0円 関東市議会議長会事務局職員研修の際の出席負担金 0円 議長交際費 56,000円 行政視察来庁の際の来客贈 194円 正副議長名刺及び封筒等の印刷 58,550円 広告掲載料等 (房日新聞、千葉日報) 33,000円 消耗品 346,702円 自動車借上料 8,020円				
	人件費	1.6 人 8,963 千円	2.1 人 11,764 千円	2.1 人 11,764 千円	2.1 人 11,764 千円	
	総事業費	10,247 千円	12,266 千円	12,704 千円	12,841 千円	
財源内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円	
	国県支出金の内容					
	地方債	千円	千円	千円	千円	
	その他特財	千円	9 千円	千円	千円	
	その他特財の内容	その他雑入				
一般財源	10,247 千円	12,257 千円	12,704 千円	12,841 千円		
財源合計	10,247 千円	12,266 千円	12,704 千円	12,841 千円		

事業シート (概要説明書)

予算事業名		議会事務局事務費		事業開始年度	平成16年度		
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度	
		-		/	/	/	
		研修参加人数	人	0 / 0	3 / 3	2 / 2	
		交際費を伴う行事等出席回数	回	5 / 5	51 / 51	57 / 57	
	行政視察受入数	団体	1 / 1	5 / 5	10 / 10		
単位当たりコスト	総事業費	/	議員数及び事務局職員数	円	511,083	529,333	535,042
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	事務局職員研修に参加し知識の習得に努め、円滑な議会運営に努める。国や各省庁の施策をはじめ他市等の動向を的確に把握することに努め、把握した情報を正確に提供していく。また、正副議長のスケジュール管理を適正に行う。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度	
					/	/	
					/	/	
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
	今後の事業の方向性、課題等	市民に信頼される議会運営の推進を図るため、議会活動及び議員活動を補助するとともに、来訪者に対する対応に配慮し、満足度の向上に努める。					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)							
特記事項							

事業シート (概要説明書)

予算事業名	議会運営事業	事業開始年度	平成16年度
上位施策事業名	-	担当課名	議会事務局
根拠法令等	地方自治法第89条～第138条、鴨川市議会政務活動費の交付に関する条例・規程、鴨川市議会議会報発行規程	係名	議事係庶務係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	山口勝弘
実施の背景	地方分権の進展により地方自治体の自己決定、自己責任の範囲が拡大したことに伴い、二元代表制の下で住民の代表機関である議会は、執行機関の監視、団体意思の決定及び政策形成など、議会の役割は一層重要性が増している。		
目的 (何をどうしたいのか)	議会が住民の負託に応え、その機能が十分に発揮できるよう、地方自治法に基づいた適正な議会運営に努めるとともに、住民の議会に対する関心を高めるため、情報発信を積極的に推進する。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	議員・市民・他の自治体議会	対象者数 (全住民に対する割合)	32290 人 ( 101.4 % )	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 ( 委託先又は 野口電工㈱、㈱フューチャーイン・㈱ぎょうせ ) 指定管理者 い・(株)大和速記情報センター <input checked="" type="checkbox"/> 補助金( <input checked="" type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 ) (補助先 市議会議員 実施主体: 各会派 ) <input type="checkbox"/> 貸付(貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他( )			
		事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標
			各委員会の行政視察費 0千円 行政視察地数 議会広報誌印刷製本費 1,478千円 広報誌発行部数 議事堂維持管理費 523千円 会議録検索システム運用費 614千円 定例会及び臨時会開催数 会議録筆耕翻訳費 1,272千円 定例会及び臨時会開催数 議員研修費 200千円 議員研修会開催数 政務活動費交付金 274千円 政務活動費交付者数 その他議会運営費 1,089千円		
関連事業 (同一目的事業等)					

事業費		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)
	事業費合計	12,088 千円	5,450 千円	8,805 千円	10,681 千円
	事業費内訳	議会運営委員会、各常任委員会の行政視察等の際の費用弁償及び旅費 0円 議会運営委員会、各常任委員会の行政視察の際の旅費 (随行職員分) 0円 行政視察の際の自動車借上げ料 0円 印刷製本費 (議会だより、年4回×10300部) 1,478,235円 委託料 (放送設備保守) 522,500円 委託料 (会議録検索システムデータ整理及び保守サポート) 614,460円 会議録筆耕翻訳料 (本会議、委員会他) 1,271,600円 委託料 (議員研修) 200,000円 政務活動費交付金 273,987円 負担金 (各議長会等負担金) 619,000円 使用料 (有料道路通行料) 20,500円 備品購入費 (図書購入費) 18,447円 備品購入費 (パソコン機器購入費) 98,802円 費用弁償等 297,540円 消耗品費 27,740円 使用料及び賃借料 (駐車料) 2,000円 使用料及び賃借料 (ライセンス使用料) 5,280円 修繕料 (議会ワゴン車エアコン修繕) 0円			

人件費	担当正職員	2.4 人 13,445 千円	2.8 人 15,686 千円	2.9 人 16,246 千円	2.9 人 16,246 千円
	臨時職員等				
	人件費合計	2.4 人 13,445 千円	2.8 人 15,686 千円	2.9 人 16,246 千円	2.9 人 16,246 千円
総事業費		25,533 千円	21,136 千円	25,051 千円	26,927 千円

財源内訳	国県支出金				
	国県支出金の内容				
	地方債				
	その他特財				
	その他特財の内容				
一般財源	25,533 千円	21,136 千円	25,051 千円	26,927 千円	
財源合計	25,533 千円	21,136 千円	25,051 千円	26,927 千円	

事業シート (概要説明書)

予算事業名		議会運営事業		事業開始年度	平成16年度		
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		-			/	/	/
		行政視察地数		自治体	0 / 0	6 / 6	11 / 11
		広報誌発行部数		部	41,200 / 41,200	41,200 / 41,200	41,200 / 41,200
		定例会及び臨時会の開催数		回	7 / 4	8 / 4	5 / 4
		議員研修会開催数		回	1 / 1	1 / 1	1 / 1
		政務活動費交付者数		人	9 / 18	13 / 18	15 / 18
	単位当たりコスト	総事業費	/	議員数	1,174,222	1,391,722	1,495,944
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	成果を判断する指標はないが、議会の審査能力の向上や市民への情報発信、透明性の確保等議会力の向上を図る。 議会だよりをわかりやすく伝えるために、議会報編集委員会において、更なる掲載内容の充実を図る。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
						/	/
						/	/
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
	今後の事業の方向性、課題等	他市の議会改革、活性化の取り組みや先進的な行政施策等の把握に努め、議会事務局として、議員に対する確かな情報提供ができるよう努める。 政務活動費の使途について適正な管理を行うため、他市町村の状況や訴訟事例等の情報収集を行い、各会派への確かな情報提供に努める。 インターネットを利用した議会中継や議会だよりにより、発信する情報は増えてきているが、更なる情報発信のあり方について、先進事例等の調査研究を行い、議会に対する関心と理解をより深めてもらう必要がある。					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)							
特記事項							

事業シート (概要説明書)

予算事業名	議会運営事業 (新型コロナ対策)	事業開始年度	令和2年度
上位施策事業名		担当課名	議会事務局
根拠法令等		係名	議事係庶務係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	山口勝弘
実施の背景	委員会室で使用している会議システムは、有線ケーブルで接続するものであり、1つのマイクを2名以上で共同使用するため、ソーシャルディスタンスを確保することが出来ない状況にある。 また、当該会議システムは、平成8年度に整備したものであり、部品の製造も中止され、システムの拡張が困難である上、経年劣化も顕著であり、現在使用できる台数が減少している。		
目的 (何をどうしたいのか)	ソーシャルディスタンスを確保し、弾力的な議会運営が可能なワイヤレス型の会議システムに更新することにより、ウイズコロナ時代の議会環境の基盤を整備する。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	議員	対象者数 (全住民に対する割合)	人 ( 0 % )
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 ( 委託先又は指定管理者 )		
		<input type="checkbox"/> 補助金 ( <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 ) ( 補助先 実施主体: )		
		<input type="checkbox"/> 貸付 ( 貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標	
	ワイヤレス型会議システム 4,675千円 ①マイクロフォン 24台 ②無線ターミナルユニット用充電器 12台 ③アクセスポイント2台 ④コンパクトスピーカー2台 ⑤無線LANコントローラー、コントロールユニット、システムアンプ各1台 ⑥移動型ワゴン 1台 ⑦タブレット、パソコン各1台			
関連事業 (同一目的事業等)				

事業コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)	
	事業費合計	0 千円	4,675 千円	千円	千円	
	事業費内訳 R2年度	ワイヤレス型会議システム一式 4,675千円				
	人件費	担当正職員	0 人 0 千円	0.1 人 560 千円	0 人 0 千円	0 人 0 千円
		臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円
		人件費合計	0.0 人 0 千円	0.1 人 560 千円	0.0 人 0 千円	0.0 人 0 千円
総事業費	0 千円	5,235 千円	0 千円	0 千円		
財源内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円	
	国県支出金の内容					
	地方債	千円	千円	千円	千円	
	その他特財	千円	千円	千円	千円	
	その他特財の内容					
	一般財源	0 千円	5,235 千円	0 千円	0 千円	
財源合計	0 千円	5,235 千円	0 千円	0 千円		

事業番号

予算科目  
(款項目) 1 - 1 - 1

令和3年度

事業シート (概要説明書)

予算事業名		議会運営事業 (新型コロナ対策)			事業開始年度	令和2年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
				/	/	/
		委員会等の開催数	回	8 / 8	/	/
				/	/	/
	単位当たりコスト	総事業費 / 議員数	円	290,833		
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	ワイヤレス会議システムにより、ソーシャルディスタンスを確保し、弾力的な議会運営に努める。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
				/	/	/
				/	/	/
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	会議システムの適正な管理を行い、製品の維持に努める。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)						
特記事項						